

基礎学力試験問題

A

1 受験心得

- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

2 注意事項

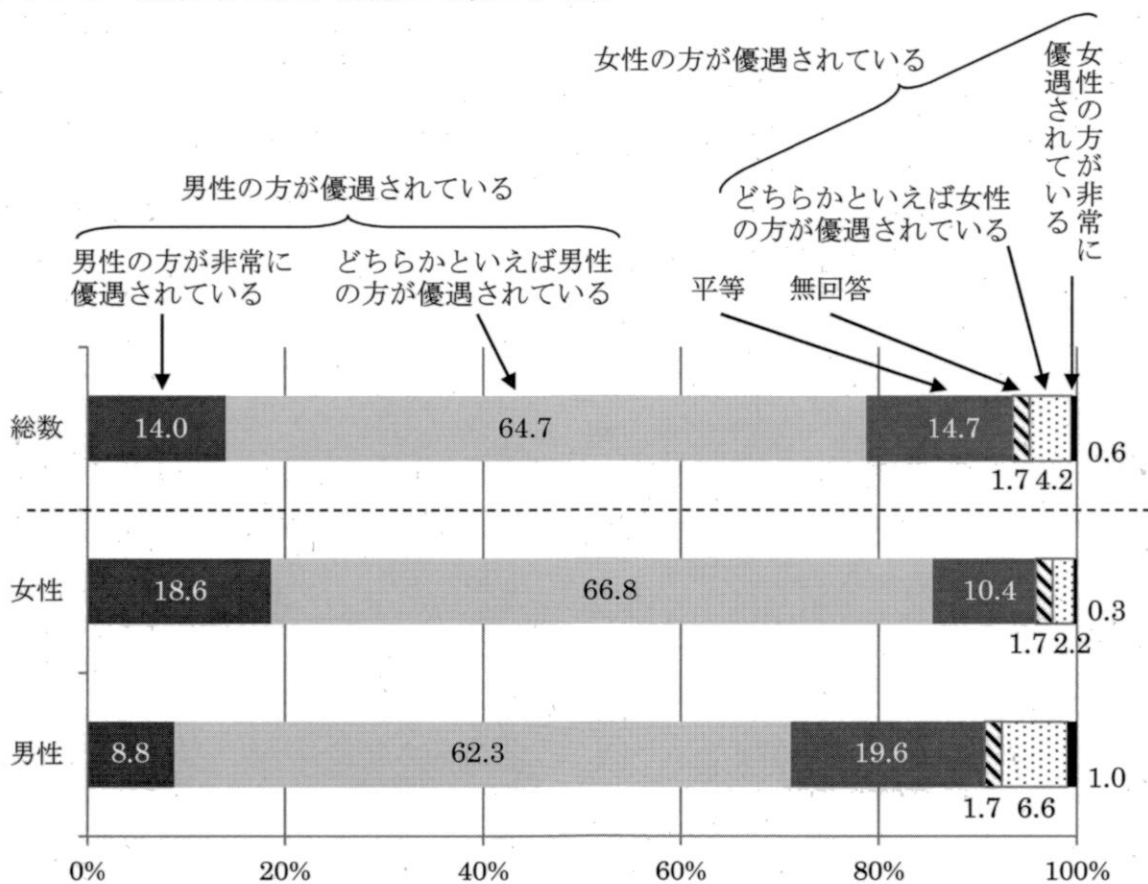
- (1) 受験番号及び氏名を解答用紙の決められた欄に記入してください。(2枚目にも記入してください。)
- (2) 問題は、①～②までで、全部で9ページにわたって印刷してあります。
- (3) 基礎学力試験の試験時間は、80分です。
- (4) 声を出して読むではいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

1 グラフ1、2、表3～5、グラフ6、表7を参照し、以下の問いに答えなさい。

問1 グラフ1は、「社会全体において男女の地位は平等になっているか」を尋ねたものである。グラフ1から読み取れることとして、誤っているものを以下より一つ選びなさい。

- (ア) 男性の方が優遇されていると答えた割合は、総数、女性、男性のいずれも7割を上回っている。
- (イ) 女性の方が優遇されていると答えた割合は、総数、女性、男性のいずれも1割に満たない。
- (ウ) 総数における平等と答えた割合は、女性のそれと男性のそれを単純に平均したものよりも小さい。
- (エ) 無回答の割合は、総数、女性、男性のいずれも同じである。
- (オ) 総数、女性、男性のいずれにおいても、男性の方が優遇されていると答えた割合は、女性の方が優遇されていると答えた割合の10倍を上回っている。

グラフ1 社会全体における男女の地位の平等感



出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

問2 グラフ2は、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう考えるか尋ねたものであり、表3は、その属性別の割合である。

また、表4は、グラフ2で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に、その理由を複数回答で尋ねたものであり、表5は、グラフ2で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者に、その理由を複数回答で尋ねたものである。

グラフ2、表3～5を参照し、次の文章の空欄（A）～（G）に入る語句や数値を選択肢から選び、また、空欄（①）～（③）に当てはまる数値を記入しなさい。数値の計算は小数第2位を四捨五入すること。

グラフ2を見ると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対し、総数において、賛成（小計）は33.4%、反対（小計）は64.3%となっており、反対（小計）は賛成（小計）の1.9倍である。同様に、女性において反対（小計）は賛成（小計）の（①）倍、男性において反対（小計）は賛成（小計）の（②）倍である。

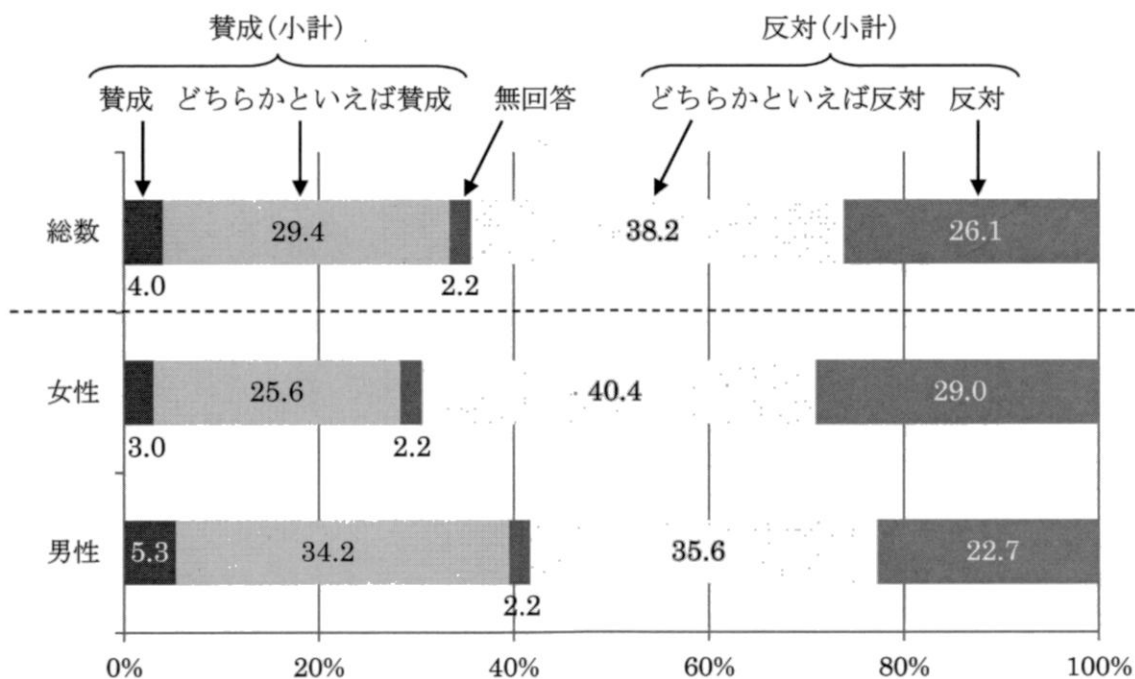
これを性・年齢別に示した表3を見ると、女性で賛成とする者の割合が最も高いのは、70歳以上で40.3%となっており、男性で賛成とする者の割合が最も高いのは、（A）で53.0%となっている。一方、女性で反対とする者の割合が最も高いのは、（B）で81.3%となっており、男性で反対とする者の割合が最も高いのは、（C）で78.0%となっている。反対が7割を超えている年齢層は、女性で（D）、男性で（E）ある。

そして、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由を尋ねた表4を見ると、性別では、「妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから」を挙げた者の割合は男性で高く、「育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」を挙げた者の割合は女性が高くなっている。年齢別では、「妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから」を挙げた者の割合が最も高いのは（F）であり、「育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」を挙げた者の割合が最も高いのは30～39歳である。

また、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対の理由を尋ねた表5を見ると、性別では、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」を挙げた者の割合は女性で高く、「妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから」を挙げた者の割合は男性が高くなっている。女性と男性の割合の差が最も大きい回答について、女性の割合は男性の割合の（③）倍である。都市規模別では、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」を挙げた者の割合は大都市、中都市で高く、「夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから」を挙げた者の割合は（G）で最も高くなっている。

【選択肢】 ア 18～29歳 イ 30～39歳 ウ 40～49歳 エ 50～59歳 オ 60～69歳
カ 70歳以上 キ 1つ ク 2つ ケ 3つ コ 4つ
サ 5つ シ 大都市 ス 中都市 セ 小都市 ソ 町村

グラフ2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識



出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

表3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識 (性・年齢別)

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
		%	%	%	%	%
総数		4.0	29.4	38.2	26.1	2.2
女性	18~29歳	—	16.6	37.9	43.4	2.1
	30~39歳	2.3	17.1	43.4	34.9	2.3
	40~49歳	1.2	25.1	38.3	33.7	1.6
	50~59歳	2.2	24.4	38.2	33.5	1.8
	60~69歳	1.6	22.0	46.1	28.6	1.6
	70歳以上	6.4	33.9	39.5	17.1	3.1
男性	18~29歳	4.7	16.5	39.4	38.6	0.8
	30~39歳	3.0	25.0	37.1	32.6	2.3
	40~49歳	5.5	24.5	38.0	29.0	3.0
	50~59歳	4.0	34.5	34.1	25.7	1.8
	60~69歳	5.4	37.6	36.8	18.2	1.9
	70歳以上	6.8	46.2	32.7	11.6	2.7

出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

表4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方を賛成とする理由（複数回答）

		妻が家庭を守った方が、こども の成長などにとって良いと 思うから	育児・介護・家事と両立しな がら、妻が働き続けることは 大変だと思うから	夫が外で働いた方が、多くの 収入を得られると思うから	日本の伝統的な家族の在り方 だと思うから	自分の両親も役割分担をして いたから	無 回 答
		%	%	%	%	%	%
総数		59.0	56.0	32.1	11.1	8.3	0.9
性別	女性	53.8	60.7	34.7	10.1	7.1	1.6
	男性	63.3	52.1	29.9	12.0	9.3	0.4
年齢	18～29歳	39.2	64.7	35.3	7.8	17.6	—
	30～39歳	52.1	74.6	38.0	7.0	7.0	—
	40～49歳	62.1	58.9	32.3	4.8	11.3	—
	50～59歳	63.1	55.0	33.1	11.3	5.0	0.6
	60～69歳	56.6	58.6	34.9	10.7	7.7	0.6
	70歳以上	61.6	49.7	28.8	14.6	7.9	1.9

出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

表5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方を反対とする理由（複数回答）

		固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られるから	妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	男女平等に反すると思うから	育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	自分の両親も外で働いていたから	無回答
		%	%	%	%	%	%	%
総数		70.8	44.8	40.0	35.7	18.4	13.3	0.9
都市規模	大都市	76.6	43.4	44.7	35.7	18.2	11.7	0.8
	中都市	77.0	41.8	44.4	34.9	17.9	11.2	0.5
	小都市	66.3	46.0	39.3	39.3	20.5	18.1	1.0
	町村	65.6	52.2	34.4	38.2	19.1	12.1	—
性別	女性	74.9	45.0	37.6	36.9	18.3	13.8	0.7
	男性	65.0	44.5	43.3	33.9	18.5	12.7	1.2

出典：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

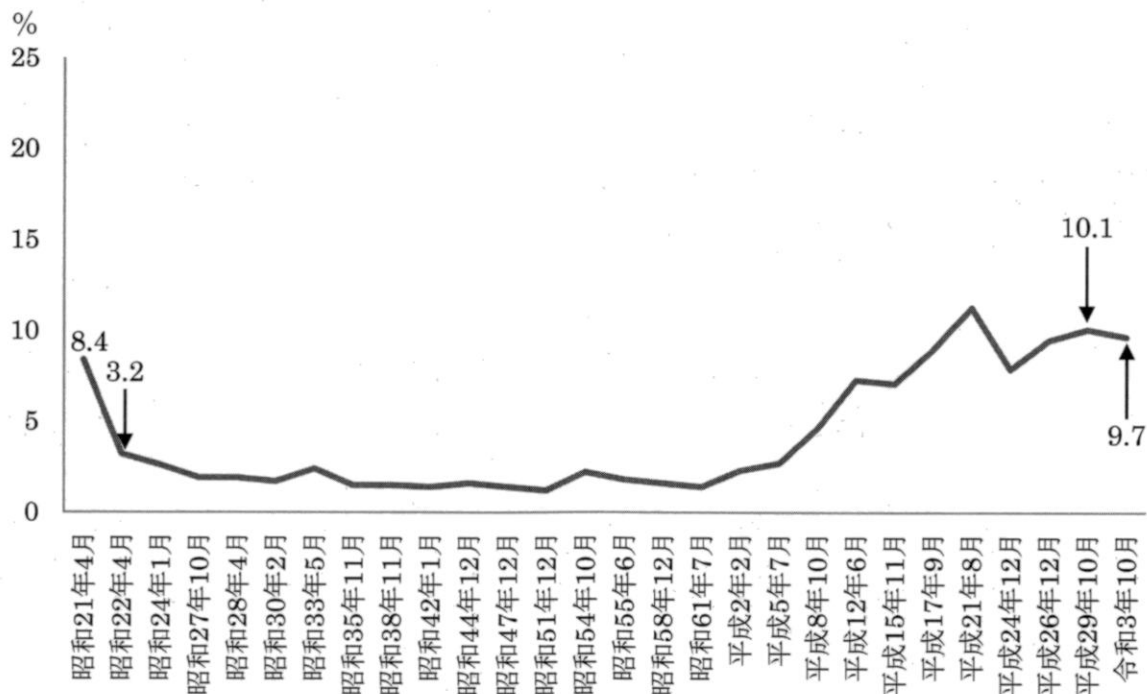
問3 グラフ6は、日本の衆議院議員総選挙における当選者に占める女性の割合の推移であり、表7は、国会議員（下院または一院制）、国家公務員（管理職）、大企業の役員の女性比率の国際比較である。

グラフ6、表7を参照し、以下の問いに答えなさい。

なお、問1、問2の内容およびグラフ1、2、表3～5を参考にしてもよい。

- (1) 令和3年10月の衆議院議員総選挙の女性当選者の割合は、昭和22年4月の衆議院議員総選挙の女性当選者の割合の何倍となるか。小数第2位を四捨五入した数値を記述しなさい。
- (2) グラフ6と表7から読み取れる課題をそれぞれ記述し、この課題を解決するためにあなたが考える取組みを2つの面からあげてそれぞれ説明しなさい。記述は120字以上150字以内におさめること。

グラフ6 日本の衆議院議員総選挙における当選者に占める女性の割合の推移



出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和4年版」より作成

表7 国会議員（下院または一院制）、国家公務員の管理職、大企業の役員の女性比率の国際比較

国名	国会議員 (下院・一院制)	国家公務員 (上級管理職)	国家公務員 (中級管理職)	大企業の役員
	%	%	%	%
フランス	37.8	30.8	34.8	45.2
ドイツ	35.1	32.5	51.3	37.2
イギリス	34.5	42.0	47.6	40.9
イタリア	32.3	34.0	42.8	42.6
カナダ	30.7	44.6	50.7	35.5
アメリカ合衆国	29.4	37.1	34.4	31.3
韓国	19.1	8.6	25.7	12.8
日本	10.3	4.2	4.9	15.5

出典：内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画の現状と課題(令和4年4月)」より作成

2

問1 次の問いに答えよ。

(1) $\left(\frac{1}{4} - \frac{2}{3}\right) \times 2 + \left(-\frac{3}{2}\right)^2$ を計算せよ。

(2) $\frac{3}{2}(a + 2b) - \frac{4}{5}(2a + 3b)$ を計算せよ。

(3) $x^3 - 9x$ を因数分解せよ。

(4) $x = \frac{1}{\sqrt{2}+1}$ 、 $y = \frac{1}{\sqrt{2}-1}$ のとき、 $x^2 + 2xy + y^2$ の値を求めよ。

(5) $2a - 5bc = ab$ ($a > 0$ 、 $c > 0$) を b について解け。

(6) 1次方程式 $0.3x + 2 = \frac{1}{5}(x + 12)$ を解け。

(7) 連立方程式
$$\begin{cases} 0.2x + 0.5y = 0.3 \\ \frac{1}{2}x - \frac{2}{5}y = -\frac{9}{10} \end{cases}$$
 を解け。

(8) 2次方程式 $3(x - 1)^2 = -x + 5$ を解け。

(9) A市の7月1日から10日の最高気温を調べたところ、表のようになった。このデータの平均値を求めよ。ただし、小数第二位を四捨五入すること。

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
最高気温(°C)	35.6	32.9	34.8	35.3	35.0	34.0	34.9	34.7	34.4	33.6

(10) 白玉2個、赤玉2個、青玉1個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、玉の色が異なる確率を求めよ。

問2 次の問いに答えよ。

- (1) 出力 500W の電子レンジで 3分 30秒 加熱する冷凍食品がある。この冷凍食品を出力 700W の電子レンジで温めるときの加熱時間を求めよ。下の「電子レンジ 時間換算早見表」を用いて考えなさい。

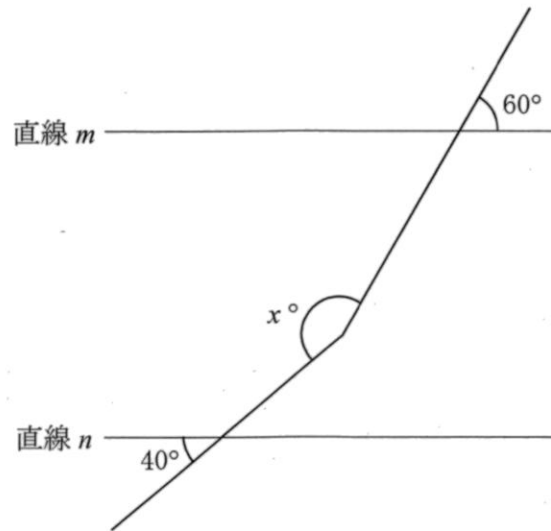
電子レンジ 時間換算早見表

出力	500W	1000W	1500W
加熱時間	30 秒	15 秒	10 秒
	1 分	30 秒	20 秒
	2 分	1 分	40 秒
	3 分	1 分 30 秒	1 分

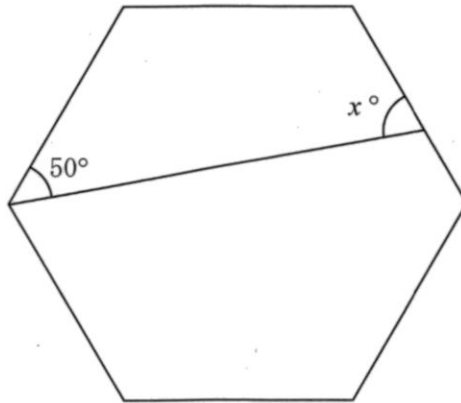
- (2) 変化の割合が $-\frac{3}{2}$ で、 $x = \frac{5}{9}$ のとき、 $y = \frac{1}{6}$ である 1 次関数の式を求めよ。
- (3) $y = 4x - 5$ のグラフと、 $y = -\frac{3}{4}x + \frac{9}{2}$ のグラフの交点を求めよ。
- (4) 関数 $y = -\frac{1}{3}x^2$ において、 x が -6 から 3 まで変化するときの変化の割合を求めよ。
- (5) 原点を O とし、 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に、 x 座標がそれぞれ -4 、 2 となる点 A 、 B をとるとき、 $\triangle OAB$ の面積を求めよ。

問3 次の問いに答えよ。(ただし、円周率を π とする。)

- (1) 半径 2cm 、弧の長さ $2\pi\text{cm}$ のおうぎ形の面積を求めよ。
- (2) 底面が1辺 3cm の正方形で、高さが 10cm の四角柱の表面積を求めよ。
- (3) 次の図で、 $m \parallel n$ のとき、 x の値を求めよ。



- (4) 次の図形は正六角形である。 x の値を求めよ。



- (5) 周の長さが $100\pi\text{cm}$ の円の面積を求めよ。